

学生の皆さんへ

松本短期大学 学長 木内義勝

今は、新型コロナウイルスに対して、日本はもとより世界中でみんなが戦っています。学生の皆さんは、ちょうどこのような時期に遭遇して大学の校舎にも入れず、自宅での課題学習など、ご苦勞を重ねていることと思います。教職員も、何とか遠隔授業の形式を活用して、勉強が続けられるよう努めております。眼に見えないウィルスを相手に続く「暗く長いトンネル」を抜ければ、その向こうには必ずや「ふだんの当たり前の生活」という貴重で輝かしい灯火が待っていることを信じて、お互いに前へ進んでいきましょう。

長野県内で緊急事態宣言が解除されたのを受けて、今週からいよいよキャンパスでの授業に入ります。しかし、宣言が解除されたからと言って、油断はできません。「5月25日の週は幼児保育」、次の「6月1日からの週は介護福祉と看護、専攻科」というように、3密を避けての授業を当面は行っていきます。手洗い、マスクの着用、体温チェックなども守っていただきます。久しぶりの登校でうれしさのあまり、仲間どうしで「濃厚接触」することは、まだ我慢して下さい。

平常時とは異なり、さまざまな悪い条件に取り囲まれることとなりますが、どうかこういう時こそ、対面授業だけに頼るのではなく、「独学」を自分で進める意欲をもって、勉強に立ち向かっていただきたいと願います。自分から進んでやる気になって覚えたことだけが、記憶に残るものです。この機会を逆用して、悪い条件の中でも自分の力を伸ばせるような「たくましさ」を身につけていただけたら教職員一同もうれしく思います。先生の側もがんばりますが、学生の皆さんにも「やる気」を大いに期待しています。

皆さんに再会できることを、今から楽しみにしております。

一緒に、困難を乗り越えていきましょう。

(以上)